

薬理学総論・薬理学各論 1 薬理学各論 2・歯科薬理学

【後期】2 年：火 3・金 1 【前期】3 年：火 2・金 2

工藤保誠，三好圭子，毛利安宏，堀口大吾，水澤典子

ここで紹介された資料は**蔵本 2 階授業サポートナビコーナーにあります**ので、どうぞご利用ください。
(同じ本が 3 冊以上ある場合は★の場所にもありますので、そちらもご覧ください)

図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために、これらの図書を読むことから始めましょう

- **薬理書：薬物治療の基礎と臨床 第 13 版(上・下) / Louis S. Goodman Alfred Gilman 広川書店 2022**
→ 世界でもっとも権威ある薬理書で、薬理学のバイブル。辞書として活用できる。

【491.5||Go||1,2】

- **標準薬理学 第 8 版 (Standard textbook) / 今井正・宮本英七 監修/飯野正光・鈴木秀典 編 医学書院 2021**

→ 第 II 編の「情報に関わる分子」や「情報伝達機構」の部分が詳しい。

【491.5||Hy】

- **イラストレイテッド薬理学 (リップンコットシリーズ) / Richard Finkel, Thomas A. Panavellil [著]/ 青山晃治 [ほか訳] 丸善 2016**

→ イラストを用いて分かりやすく解説。章始めにあるサマリーが便利。各章の最後には問題集を掲載。

【491.5||Ir】

- **カッツング薬理学 / Bertram G. Katzung 丸善 2009**

→ 薬理学のバイブル的な参考書。薬理作用、作用機序等が詳しい。「日本で入手可能な薬剤リスト」が加えられ、臨床分野の学習にも有益。

【491.5||Ka】

- **カッツング薬理学：エッセンシャル (Lange textbook シリーズ) / Anthony J. Trevor, Bertram G. Katzung, Susan B. Masters 丸善 2012**

→ 各章末にある演習問題は、歯学生には少し難易度が高いが、知識の整理に有益。

【491.5||Ka】

- **カラー図解 これならわかる薬理学 第 2 版 / 訳 佐藤俊明 メディカルサイエンスインターナショナル 2012**

→ 一項目は見開き 2 頁で完結し、左右に図と解説文を配した構成で理解しやすい。

【491.5||Ko】

- **痛みの考えかた-しくみ・何を・どう効かず / 丸山一男著 南江堂 2018**

→ たくさんの楽しいイラストと共に、痛みに対する理解が深まる一冊。夏休みにオススメ。

【491.378||Ma】

- **Flash 薬理学： 詳しすぎず、易しすぎない、効率重視の薬理学 改訂版 / 丸山敬 羊土社 2025**
 → 少しクセ強だが、一般薬理学について楽しく記載されている。図書館購入の電子書籍版を利用できる。
[【https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000064873?6】](https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000064873?6)
 【491.5 | Ma】
- **NEW 薬理学 改訂第7版 / 田中 千賀子・加藤 隆一・成宮 周 南江堂 2017**
 → 代表的な一般薬理学の参考書。薬物の作用機序、情報伝達機構、薬理ゲノミクスなどの解説などが充実。
 ★【蔵本2階生命科学閲覧室 491.5 | Ne】
- **ラング・デール薬理学 原書8版/ Rang HP, Ritter JM, Flower RJ, Henderson G 丸善出版 2018**
 → 英国で評価の高い教科書。内容およびカラー図表が豊富。引用文献・参考文献に簡単な解説が付いている。
 【491.5 | Ra】
- **臨床薬理学 第4版 / 編集：日本臨床薬理学会 医学書院 2017**
 → 日本臨床薬理学会編集による臨床薬理・治療学の教科書。
 【491.5 | Ri】
- **臨床薬理学：ハーバード大学講義テキスト 原書3版 / David E Golan et al. / 渡邊裕司（監修，翻訳） 丸善出版 2015**
 → ハーバード大学医学部の学生と教官が共同で編集した本。それぞれの病態のメカニズムを生理学、生化学、病態生理学の観点から解説し、それに対する薬物の分子機序が詳細に記してある。
 【491.5 | Ri】
- **解る！歯科薬理学 第3版 / 安達一典・高橋俊介・高見正道・二藤彰 編 学建書院 2019**
 → 一般薬理学から硬組織にかかわる薬物や歯科専用薬物についての知識までまとまっている。
 【497.033 | Su】
- **現代歯科薬理学 第7版 / 大谷啓一 監著 / 鈴木邦明・戸苅彰史・青木和広・兼松隆・筑波隆幸 編 2024**
 → 1979年以来の歴史を有する歯科薬理学の最新刊。歯学科のシラバスは現在この本の進行に沿っている。
 【497.15 | Ge】
- **歯科薬理学 第5版 / 石田甫・大浦清・上崎善規・土肥敏博 編 医歯薬出版 2005**
 → 1971年以来の歴史を有する歯科薬理学の参考書。第5版以降の最新刊は発行されていないが、歯科薬理学の近代的な発展が感じられる第4版もおすすめである。
 【497.2 | Ge】
- **臨床力に差がつく薬学トリビア / 宮川泰宏著 株式会社じほう 2022**
 → 薬学に専門的ではあるが、実践に即した考え方が歯科薬理学の理解の助けにもなる。夏休みにオススメ。
 【499 | Mi】
- **今日の治療薬：解説と便覧 2025年版(第47版) / 川合眞一・伊豆津宏二・今井靖 [共] 編著 南江堂 2025**
 → 薬物を扱う臨床において、医師・歯科医師必携の書。新薬を含めて記載があり、添付文書外情報、後発薬品についての情報もある。
 【499.1 | Ko | '24】

□ **薬がみえる vol.1~4 /編集：医療情報科学研究所 メディックメディア 2014~2020**

→ 「病気がみえる」シリーズの薬理学・薬物治療学版。薬と病気をつないで理解できる。チーム医療を担う医療人共通のテキスト。

【499.1||Ku||1-3】

DVD

授業のテーマに関連した視聴覚資料です

□ **目で見える薬理学入門 / 医学映像教育センター**

【491.5||Me||1-12】

Web

授業のテーマに関連したデータベースやサイトです

□ **薬理学電子教科書（上）（下）**

【<https://drugacademy.atlassian.net/wiki/spaces/PHARMACOLO/overview>】

→ 大阪大学の薬理学担当者による執筆。イラストがわかりやすい。立体分子構造が示されている。PDF ファイルも利用可能。

□ **日本薬学会・薬学用語解説**【<https://www.pharm.or.jp/words/>】

→ 薬学・薬理学の用語の解説がある。

□ **痛みと鎮痛の基礎知識**【<http://plaza.umin.ac.jp/~beehappy/analgesia/index.html>】

→ 基礎情報が詳しい。本ウェブページを土台に「増補改定新版 痛みと鎮痛の基礎知識/ 小山なつ 技術評論社 2016」が出版されている。

□ **血液凝固検査入門**【<http://www.3nai.jp/weblog/entry/28676.html>】

→ 金沢大学血液内科・呼吸器内科により作成されている。イラストがわかりやすい。

□ **メルクマニュアル日本語版**【<http://merckmanual.jp/mmpej/index.html>】

→ 世界で最も信頼されている医学書の一つ。各疾患の病因、病態生理、症状と徴候、診断、治療などが記載されている。